

校長のつぶやきⅡ

校長室便り 第48号

令和2年12月3日 山内

○身だしなみ講座 —まだ就職も決まってないの？ 洋服業界講師が3年生に—



12月2日（水）総合的な探究の時間を用いて、外部から講師をお招きし、社会人や上級学校に進む大人としての「身だしなみ」講座を行いました。男子は講義室、女子は同窓会館フロンティアにそれぞれ分かれて、スーツやシャツの裾丈から靴・鞄、振る舞い方等きめ細かに教えていただきました。

就職試験がまだこれからで、それどころではない3年生もたくさんいます。今朝の新聞によれば、10月31日現在の大崎管内の高校生就職内定率は59.5%で前年比19.4ポイントも減となり大変厳しい状況です。もちろんコロナ禍で、就職試験自体が一月後ろ倒しされたことも関係していますが、解禁日からの集計期間を同じにしても7ポイントほど下がっています。求人数自体も減っていて、大崎管内の求人数は773人で昨年より100人以上減っています。この傾向は宮城県内全体に言えることです。

就職試験が年明けという岩高生もいるはずですが、山本先生、関先生はじめ岩高の先生方は応援しています。今回の講座は就職試験をはじめ、必ず今後生きてきます。最後まであきらめないで、粘って粘ってください。皆さんには可能性があります。大丈夫です。大人が勝手に限界を設けなければ岩高生はできます。

○学校保健委員会 —校医さんからご助言 医師会長と同じお話—

12月2日（水）学校保健委員会・安全衛生委員会が会議室で開催されました。養護の石橋二美先生が、岩高生の健康診断や生活習慣等について詳細にまとめたものを、出席者で共有し、最後に学校内科医の高橋直典先生、歯科医の千葉昭久先生からご助言をいただきました。体位測定で「運動不足」による身長と体重のアンバランスさは岩高だけでなく「大崎地区」の高校生の課題ということで「毎日登校坂を上るだけでもいい運動だ」という助言をいただきました。コロナ対策についても「授業中は必ずこまめに換気」「マスク着用」「3密回避」「消毒」といったことを徹底するように助言いただきました。

この日の夕方日本医師会の中川会長が会見で「インフルエンザはほぼゼロに等しい。これはマスク、手洗い、消毒等の効果があったから。それでもコロナは増えているが、マスク、消毒等をしていなければ、日本がどうなっていたか想像もつかない」と言っていました。校医の高橋先生と全く同じ見解です。この日、横浜市立大学の研究チームが『感染した人の体内に感染から半年後の時点で感染防止効果のある「中和抗体」が残っていて、ない人よりも再感染のリスクは低い』とする研究結果を発表しました。このことはワクチンの効果にも期待を持たせるものですし、英国では来週からワクチンの接種が始まるというニュースも流れています。それでも、昨日東京都では500人、宮城県でも9人の感染者の報告があります。「マスク着用」「3密回避」「消毒」「社会的距離」「換気」を徹底しましょう。ではこれで今回のつぶやきはおしまいです。本日の容儀指導で指摘されたところ、自己申告のところを改善してください。岩高の先生方は岩高生を信じて待ちます。